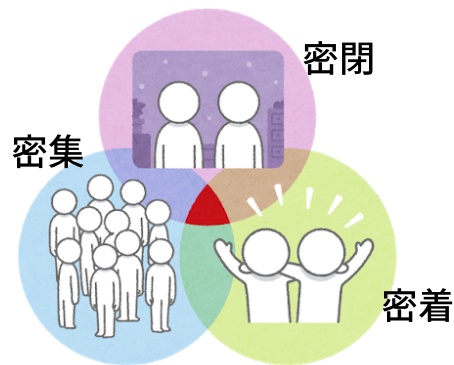


新型コロナウイルス感染症予防のための 学校の新しい生活様式

学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル
～「学校の新しい生活様式」～(2020.5.22 Ver.1)より

- ① 「3つの密」を徹底的に避ける
- ② 「マスクの着用」
- ③ 「手洗いなどの手指衛生」



「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m 程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での リスクの低い活動で短 時間での活動に限定
レベル2	できるだけ2m 程度 (最低1m)	リスクの低い活動 から徐々に実施	リスクの低い活動から 徐々に実施し、教 師等が活動状況の確 認を徹底
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	十分な感染対策を 行った上で実施	十分な感染対策を 行った上で実施

感染症予防のための持ち物



無意識に顔を触っています



手洗いはせっけんを
つけて30秒以上!



手洗いの6つのタイミング



会話をするときは
マスクの着用をしてください
5分間の会話は
1回の咳と同じ
リスクです



ただし、気候の状況等により、
熱中症などの健康被害が発生す
る可能性が高いと判断した場合
は、マスクを外してください。

体育の授業におけるマスクの
着用は必要ありません。
R2.5.21スポーツ庁

安全に体育や部活動をするためには

令和2年5月21日スポーツ庁政策課学校体育室
「学校の体育の授業におけるマスク着用の必要性について」
令和2年5月22日スポーツ庁スポーツ課
「安全に運動・スポーツするポイントは?」の改正について より

1. マスクについて

運動時のマスクの着用

十分な呼吸ができない
熱中症になる可能性

水分補給を忘れる
体温が下がりにくい

運動時は
マスクの必要なし

- 健康被害がなければ着用可能
- 一定の間隔をとるなど感染リスクを下げる
- 会話する場合も間隔をとる

2. 運動前の体調確認

一つでも当てはまる場合は、
体育や部活動は控える

- 平熱を超える発熱
- 咳、のどの痛みなどの風邪の症状
- だるさ、息苦しさ
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等

3. 十分な距離を確保

コロナウイルス感染症は、無症状や軽症の人であっても、他の人に感染を広げる例があります。コロナウイルス感染症対策には、自らを感染から守るだけでなく、自らが周囲に感染を拡大させないことが不可欠です。
十分な距離を保ち感染リスクを下げましょう。



4. 手洗いや手指消毒をする



運動やスポーツをする際には、汗をかいたりして、タオルで顔を拭くことがあります。その際に手が顔（特に口）に触れたりすることも考えられます。屋外から帰宅した場合だけでなく、出かける前や、途中で一休みする際にも手洗いを行いましょう。

5. 帰宅後はすぐに手や顔を洗う

できればシャワーやお風呂に入り着替える

6. 熱中症予防の観点からこまめな水分補給を

スポーツドリンクなどの、飲みまわしはぜったいにしないこと!

